那須南病院だより

No.1
2006.10

〒321-0621 栃木県那須烏山市中央3丁目2番13号 TEL.0287-84-3911㈹

広報誌発刊に寄せて

病院長 関口忠司

当院は平成2年に旧南那須4町が力を合わせて50床の広域行政事務組合立病院として誕生し、透析医療、療養型病床の開設等を経て、現在は150床の入院機能を有する病院へと発展してきました。昨年の町村合併により、設立母体は那須烏山市と那珂川町の1市1町からなる広域行政事務組合立の病院に変わっております。

この度、病院から地域の皆様にメッセージをお届けする広報誌第一号を発刊致しました。コンパクトな内容ですがどうぞご覧ください。地域の皆様に病院をより身近に感じて頂ければ幸いです。

下段に病院の理念と基本方針をお示しします。定期的な見直しがなされますが、今回の内容は本年7月に改訂されたものです。現在病院では職員一同、病院の理念を念頭に、4つの基本方針の実践に努めております。

地方の病院勤務医不足等が社会問題となる中、今日まで、どうにか医療スタッフを確保でき、小さい病院ながら365日、24時間の救急医療体制をとり地域医療に貢献できたことは私たちの誇りでもあり、職員一同これからも堅持していきたいと願っております。しかし、夜間診療にあたったスタッフの中には翌日の勤務にそのまま移行するものもおり、今後スタッフの確保ができない場合は体制の縮小もやむなしと心配されます。36時間の連続勤務などという過重労働に耐えきれず病院を辞めていく医療者が全国的に増えています。利用される皆様のご協力により365日、24時間の救急医療体制をこれからも継続できますよう、休日、夜間は緊急性のある場合のみ受診していただき、翌日以降の通常診療時間帯での受診が可能な場合は後日受診するということを守って頂きたいと思います。この様な内部の事情の一端をご理解頂く事も病院便りの一つの役割と考えます。

また、身近な病気、最近の健康に関する話題をわかりやすくご説明したり、当院で行っている医療のご紹介などを考えておりますが、広報誌の発行はしばらくの間は年に2回を予定しております。

当院には2つの急性期病棟と1つの療養型病棟、合計3つの病棟があります。療養型病棟に入院されている方の楽しみにと、地域のボランティアの方が、物語の朗読に来られたり、大正琴の演奏会や、剣舞を披露してくださったりしています。楽器演奏その他ご提案があればお寄せ下さい。ごらんになった「那須南病院だより」への感想、質問などもお待ちしております。院内のご意見箱への投書や、インターネットで那須南病院のメールアドレスまでお送り下さい。皆様の声に耳を傾けながら、皆様と共によりよい病院を造って行きたいと思います。

産声をあげたばかりの広報誌ですが、今後とも宜しくお願い致します。

病院の理念

私たちは、患者の皆様に良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の基幹病院として医療機関との連携の基に救急医療、専門的医療など地域の求める医療を行います。
2. 診療情報の的確な提供及び説明と同意に基づく心の通った医療を行うとともに人権とプライバシーを尊重します。
3. 最新医療の研鑽に努め、医療水準の向上を図るとともに医療の安全性向上に積極的に取り組みます。
4. より良い医療を継続して提供するため、収益の確保と経費の節減を図り、合理的・効率的な経営に努めます。

広報誌発刊にあたって

看護部長　後藤　光代

那須南病院だよりの発刊にあたりご挨拶申し上げます。

看護部では開院以来、患者の皆様に心温まる看護を提供できるよう取り組んで参りました。

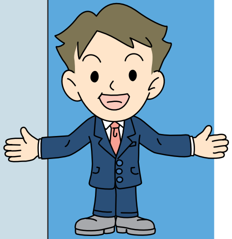
平成2年の開院から16年が経ち、看護を取り巻く環境も大きく変化いたしました。平成3年に看護の日が制定され、「看護すること、助け合うこと」の重要性を広く一般の方に知っていただく機会ができたこと、国家資格ではありませんが、平成7年から認定看護師、専門看護師という特定の分野の専門的な看護師制度も出来ました。また、平成14年からは名称の変更で「看護師」となり、改めて看護に対する期待と責任の大きさを実感しております。

このような動きを踏まえながら、なによりも患者の皆様、ご家族に、よりよい看護を提供できるよう検討を継続して参りました。このたび病院の理念に基づき、看護部理念を見直し、「私たちは、患者さんに寄り添い、思いやりのある看護を提供します。患者さんとご家族が、安心して過せるようにサポートします。」といたしました。今まで以上に患者の皆様、ご家族に満足と安心していただけますよう、これからも努力して行きたいと思います。

最後に、私は、今年度4月から看護部長に就任いたしましたので、併せて就任のご挨拶をさせていただきます。

前任者の小曽根部長から引き続き、自治医科大学から派遣で参りました。就任してから6ヶ月が経ち、那須南病院が地域の中核病院として皆様に期待されていること実感しております。私も職員の一員として看護の役割が果たせるよう最善をつくしたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

新任紹介



井 上　真
内科医長

自治医大腎臓内科より派遣されました。専門は、腎臓疾患・透析です。宜しくお願いします。

島 田 浩 至
内科医師

内科担当として赴任して参りました。日光市民病院、佐野市国民健康保険新合診療所などに勤務し、主に地域医療に従事してまいりました。どうぞ宜しくお願いします。

眞 田 幸 弘
外科医師

外科の眞田です。烏山は、西の「嵐山」、東の「烏山」と言われるくらい風情あるところと聞いていました。夜は星もきれいで、いい環境で働けて幸せです。

インフルエンザについて

今年6月、真夏の沖縄にインフルエンザが流行し、学級閉鎖も発生しました。同様の流行は北海道や九州でもみられました。冬の病気と思われていたインフルエンザですが、迅速診断キットが普及したため、夏でも正確に診断されるようになりました。

そうは言っても本番はやはり冬。このインフルエンザ、ただのかぜと思っていたら大変なことになります。２００４～０５年シーズンでは１５０００人がインフルエンザの流行により死亡しています。お年寄りや呼吸器疾患、糖尿病など基礎疾患を持つ人は、肺炎など重篤な合併症を併発する場合があります。乳幼児では中耳炎や熱性けいれん、さらには急性脳症を発症する場合もあります。

インフルエンザの予防は、流行する前にワクチンを接種することです。これにより感染したときの重症化を予防することができます。また冷たく乾燥した環境はウィルスの感染に最適です。部屋を暖め、加湿したり、外出のときはマスクをするといったことで予防を心がけましょう。

整形外科診療体制のお知らせ

平成18年３月まで、常勤整形外科医２名体制で診療を行っておりましたが、医師異動の後、常勤医師が確保できず、４月からは非常勤医師による平日午前中（水曜日を除く）の診療となっております。夜間、休日など整形外科医不在の時の診療で緊急性のある場合は整形外科医のいる病院をご紹介させて頂くなど地域の皆様にはご不便をお掛けしております。そのため外来日に多くの方が受診され、常勤体制の時よりもお待ち頂く時間が長くなっております。ご迷惑をお掛けし、申し訳ございません。これからも常勤整形外科医の確保に努めて参りますが、栃木県の県北においてはいくつかの病院で整形外科医が不足しており、現時点では元の体制に戻る期日をお示しすることができません。

状況をご理解頂き、急病でない関節痛、腰痛などで受診される場合は、整形外科医の診察日、診察時間に受診して頂けますようお願い致します。

院内紹介 薬剤科

厚生労働省の医薬分業の推進と外来の薬の待ち時間短縮を目的に、当院の外来に受診された患者様は全て院外処方せんの対象患者様となっております。医薬分業をする事で患者様がかかりつけ保険薬局を持ち、かかりつけ薬局の薬剤師が、飲まれている薬の歴史（薬歴）を管理し、相互作用（飲み合わせ）など、詳しい説明を受けることができます。

平成14年１月４日より開始されたこの制度は、患者の皆様のご協力を得まして、滞りなく行われてきました。

また、一部の検査薬などについては、当院の薬受け取り窓口で渡しております。

では今４人いる病院の薬剤師はなにをしているのでしょう？当院の薬剤師の仕事を大まかに説明いたします。

1 入院患者様の服薬指導

主治医の依頼により、入院されている患者様へ、医薬品の効能・効果・用法・用量・副作用など、薬剤情報提供書（お薬説明書）を用いて詳しく説明しております。患者様の内服薬・注射薬・外用薬などの薬歴を調査し、相互作用・副作用などの入院中の管理をしております。

2 注射剤の供給

入院患者様の点滴（注射剤）を１回毎にセットして看護師に渡しております。また、外来処置室で使用された患者様の注射剤なども供給しております。

3 入院患者様のお薬の作成

入院患者様の内服薬（飲み薬）や外用薬（つけ薬）などを作ってご本人や看護師（自分で飲むことができにくい患者様用）に渡しております。

4 院内投薬

検査薬や一部の薬、血液透析を受けられている患者様の薬については「薬の受け取り窓口」で患者様やご家族にお渡ししております。

5 院内製剤の作成

病院内で使用される市販されていない処置用の薬などを主治医より依頼されて清潔な場所で作成しております。

6 医薬品の管理

購入管理、在庫管理、供給管理、使用管理、品質管理、安全管理、麻薬管理、事務管理などがあります。

7 最近では・・・

病院評価機構審査への準備、ICT（院内感染対策チーム）や情報管理・広報委員会、クリニカルパス委員会、NST（Nutrition Support Team）委員会に参画しております。

尚、ご質問等があれば電話でもＥ－メールでもお受けしております。

外線直通　０２８７－８４－３４８８
（直通時間9時～17時）
Ｅ－メール　yakkyoku@nasuminami- hosp.karasuyama.tochigi.jp

那須南病院外来診療担当一覧

（平成18年10月1日現在）

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科 循環器科	8:30～11:30	関根 江原	宮澤 森成	井上	宮澤 小林 （第1･3･5）	森成 島田
		島田 宮澤	江原 （井上）	関根 宮澤	森成 島田	江原 （井上）
小児科	8:30～11:30	石川	石川	石川	石川	石川
	13:30～15:30	石川	石川	石川		石川
	予防接種（要予約） 13:30～				石川	
外科	8:30～11:30	関口 眞田	眞田 特殊外来	笹沼 伊澤	関口 笹沼	伊澤
整形外科	8:30～11:30	亀井	高井		星川	本島
眼科	8:30～11:30	青瀬	青瀬	齋藤	青瀬	青瀬
	13:30～15:00	青瀬	青瀬	齋藤	休診	青瀬
耳鼻咽喉科	8:30～11:30 13:30～15:30		後藤			白坂
皮膚科	13:30～16:00			村田		
泌尿器科	13:30～16:00			安土 又は 池田		

＊都合により担当医が変更、又は休診となることがあります。
＊内科の（　）内担当医は検査等が終了次第、外来の診察を開始しますので10：30以降となります。
＊内科では、■以下の医師が初診外来です。
＊眼科の木曜日午後は、手術のため休診となります。

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

●ご来院の際は受診カードを必ずお持ちください。
●毎月保険証及び老人受給者証等を確認しますので、忘れずにお持ちください。
●救急の患者様は随時対応いたしますので、必ず電話（☎84－3911）にてご連絡ください。

編集／情報管理・広報委員会　ホームページ http://www.nasuminami-hosp.karasuyama.tochigi.jp

編集後記

昨年、院内に発足した「情報管理・広報委員会」が病院長の命を受け、那須南病院広報誌の記念すべき第1号の編集を行ってまいりました。

「情報管理・広報委員会」といっても、ピンと来ない方に簡単にご説明いたしますと、委員会の目的は、院内の医療情報の総括管理や地域の皆さんに、今回の広報誌やホームページ（院内自主制作）を通じて「那須南病院」をもっと知っていただくことです。今後もいろいろな情報を発信していきたいと考えています。

今回記事の中に部門紹介がありましたが、院内の各部門を紹介していく予定でいますので、楽しみにしていてください。

「那須南病院だより」は年2回発行する予定ですので、今後とも宜しくお願いいたします。